一般社団法人

日本林業技士会よりのご挨拶



一般社団法人　日本林業技士会会長　小林　洋司

会員の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より技士会活動に、ご支援、ご指導、ご協力感謝申し上げます。

さて、世界情勢は、アメリカ大統領、トランプ、ショックで国際経済は混乱し、イラン戦争による原油高による世界的な経済混乱状況という情勢です。また相変わらずロシアのウクライナ侵攻による侵略戦争が続いております。

林業経済はどうなるか、物価の高騰、実質賃金の低迷、企業の原料高から来る業積の不振など厳しい経済状況に見舞われております。林業を見ますと円安と原料不足から立木価格によい影響がありそうですが、立木価格は相変わらず低迷状態です。林業現場では、未だ、再造林が不可能など厳しい状況が続いているようです。林業事業体数は激減、現場では人手不足と労働死傷事故の増加です。林野庁の施策であります、環境税、環境譲与税に伴う、新たな林野行政に期待したいと思います。

このような状況の中、林業現場で活躍する「林業技士」の皆さんはたいへんな状況と思います。課題山積み、問題山積み、ここでは触れませんが林業労働災害の多発、林業作業者の不足、立木価格、材価の低迷、どれを考えても解決困難な問題ばかりです。現場作業の指導的立場、現場のリーダ

一としての立場、重圧は大変と思います。

現場と言っても「林業技士」の皆さんは、行政、事業体としての会社、森林組合、県、市町村、団体の中で活躍しております。それぞれの立場でこのような時期でこそ、問題解決に当たって欲しいと思います。大変な時期を乗り切って初めて、明るい未来が開けます。皆さんの活躍を期待しております。

「一般社団法人・日本林業技士会」は、会員皆様に対して、また社会に対して林業発展のため活動して参りたいと思います。林業技士資格の有効活用のさらなる推進、たとえば国地方公共団体が実施する森林整備事業や林道・治山事業に当たり、事業を実施する企業、団体に「林業技士」資格者の在籍、総合評価を求めるべく、各支部との連携を深めながら森林技術協会と連携し、関係機関への要請に努めます。関連し、国、都道府県へ、技士会ニュースを配付しております。

日本林業技士会の活動に、ご支援、ご指導、ご協力よろしくお願いします。また、会員皆様のご健康とご発展をお祈りいたします。

令和８年　11月　吉日